

Employee's Profile

情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



はじめまして。ジャパントラスト名古屋本社 業務チームの石浜と申します。去年の7月から勤務させて頂いており、主に東京エリアのお客様のBL作成、発行、現地とのやり取り等を担当しております。大学卒業後、就職を機に地元大阪から名古屋へ引っ越し、ジャパントラスト入社前は子供英会話の講師をしていました。子供たちとのハチャメチャな生活から一転、貿易関係の仕事に就くのは初めてなので、まだまだ日々勉強の毎日ですが、知れば知るほど奥が深く、面白い業界だな



と感じております。出身柄もあり、お笑いを観に行くのが大好きで、色々な劇場に足を運んでいます！

週末はヨガに行ったりしていますが、最近は何か新しいことを始めようと思い、新しい言語を習得しようと計画中です。名古屋に来て間もなく7年目になりますが、まだまだ行ったことのない所も多いので、おすすめの場所があればぜひ教えてください。

東京エリアのお客様が多いので、直接お会い出来る機会はなかなかないですが、名古屋より精一杯、船積みのフォローをさせて頂きますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

名古屋本社 業務部：石浜 詩織



ジャパントラスト ブログ [検索](#)

東アジアのマルチ・クロス・ポート 進化する博多港 / アイランドシティ地区

こんにちは。名古屋本社外勤営業の久瀬です。弊社で唯一の九州地区担当の営業マンです。九州地区の訪問サイクルは3-4カ月に1度くらいとなりますが、先日、博多港のアイランドシティの視察に行ってきました。博多港は荒津地区、須崎ふ頭、博多ふ頭、中央ふ頭、東浜ふ頭、箱崎ふ頭、香椎パークポート、そして今回の視察先福岡アイランドシティの8つで構成されています。

アイランドシティ地区においては『みなとづくりエリア(港湾)』と『まちづくりエリア(居住)』の二つのエリアで構成された人工島となります。

みなとエリアにおきましては今後の博多港で取り扱うコンテナの貨物の増加や船舶の大型化に対応するため、5~6万トン級の大型コンテナ船が同時に接岸できる、最大水深15メートル、岸壁総延長約1,000メートルの高規格国際コンテナターミナルを段階的に整備しています。また、荷役機械の電動化などにより、CO2排出量の低減に取り組むと同時に24時間対応の荷役サービスなど国際物流拠点として進化していきます。

私が伺ったときは、広大な土地の中で大型の物流倉庫やマンション建設などの工事が行われていました。雰囲気・イメージは神戸のポートアイランドと少し似ている感じがします。とにかく広大な土地である事に圧巻でした。

現在の博多港は国際海上コンテナ取扱量としては年間91万TEU(平成27年度データ)ここ20年で約4.4倍に増加しています。

また国際乗降客数は86.6万人(平成26年度データ)で日本一となりこの増加はこれからも続いていく見込みです。博多港アイランドシティの目指すのは『東アジアのマルチ・クロス・ポート』です。今回の視察を終えて改めてそれが実現すると思える素晴らしい環境でした。また、博多港は九州の海上物流の玄関口として益々進化すると実感させられました。



名古屋本社 外勤営業：久瀬 秀和

